

経 済 民 生 常 任 委 員 会 記 録

令和7年1月16日（木）午前10時08分～午前10時52分（9階904会議室）

○出席委員（9名）

委 員 長	根本 雅昭
副委員長	二階堂利枝
委 員	七島 奈緒
委 員	佐原 真紀
委 員	白川 敏明
委 員	後藤 善次
委 員	村山 国子
委 員	羽田 房男
委 員	真田 広志

○欠席委員（なし）

○市長等部局出席者（なし）

○案 件

所管事務調査「持続可能な農業の振興に関する調査」

- 1 今後の調査内容について
- 2 委員長報告のまとめについて

午前10時08分 開 議

（根本雅昭委員長） それでは、ただいまから経済民生常任委員会を開会いたします。

議題は、お手元に配付のとおりです。

それでは、持続可能な農業の振興に関する調査についてを議題といたします。

初めに、今後の調査内容についてを議題といたします。

まず、昨年ですけれども、本調査中に、食料・農業・農村基本法の一部を改正する法律が施行されました。この法律は当委員会の調査結果に通じるものでございまして、所管事務調査での提案が酌み取れる部分については酌み取りまして、関連する本市条例である福島市農業・農村振興条例に反映さ

せることが必要ではないかと正副手元で考えたところでございます。また、調査結果の内容からも反映させることが必要であると考えております。

つきましては、当委員会で条例改正案を作成し、提出したいというふうに正副手元で現在考えているところでございます。また、改正するまでに当局説明、参考人招致、条例改正案の検討、パブリックコメントの実施等を行う必要が生じてまいります。よって、条例改正を行う場合は、委員長報告を3月から6月に変更する必要がございます。

確認事項といたしましては、ただいまご説明いたしましたように、条例改正を行う場合には、幾つかの決定事項ございますので、ご承認いただければと思います。まず、ただいま説明したとおりでありますけれども、3月には委員長報告は行わずに、この調査結果も含めて条例改正案を提出するために、6月にまとめて委員長報告と条例改正案の提出を行うことになります。次に、パブリックコメントを実施して市民の意見を聴取するという手続きが必要になってまいります。また、6月は委員会の任期もございますので、そのスケジュールの中で必要な手続き、手順を踏まえて、十分な検討の上、改正案を作成したいと考えております。また、条例全体について十分な検討を行いまして、改正によりほかの例規に与える影響、市民に与える影響を考慮する必要もございます。

このような手続きですとか確認事項がございますけれども、改めましてこのような手続きでご承認いただいた上で、当委員会で、福島市農業・農村振興条例の改正案を作成し、提出したいと考えておりますけれども、よろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(根本雅昭委員長) ありがとうございます。異議なしということで、それではそのように進めさせていただきます。

次に、委員長報告のまとめについてを議題といたします。

前回の委員会では、委員長報告の提言項目等についてご協議いただきました。提言項目を踏まえ、正副委員長手元で委員長報告の素案を作成いたしましたので、ご確認いただきたいと思います。また、ただいま説明いたしました条例改正を行うということになりましたので、5番目の市への提言の後に挿入する予定でございますけれども、それ以前の内容についてご確認いただければと思います。

それでは、素案をお手元に配付しておりますので、確認のため、10分程度黙読の時間を取りたいと思いますが、10分程度でよろしいですか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(根本雅昭委員長) それでは、黙読の時間とさせていただきます。

【資料黙読】

(根本雅昭委員長) それでは、素案についてご協議いただきたいと思いますけれども、素案についてご意見がある方はお述べください。

(村山国子委員) 2ページの2行、3行なのですけれども、日本ナシはこういうふうな表記なのかも

しれないですが、モモとか、リンゴとか、平仮名とか片仮名とか混在しているのですけれども、これは何か理由があったのでしょうか。市の当局説明でこういう感じだったのでしょうか。

（根本雅昭委員長）当局説明の資料がこのようになっていたそうです。それに合わせて書いています。

（村山国子委員）モモが平仮名で、リンゴが片仮名でという感じだったので、何かちょっと一貫性がないかななんて。

（根本雅昭委員長）そうですね。混ざっている、ちょっと念のため正副手元でも確認したいと思います。

（村山国子委員）あと、1ページの4行目だったのですけれども、就労者数の減少の理由だったのですけれども、物価高騰というか、資材とか飼料が高くてやっていけないというので廃業する人なんかも出てきているので、農業を取り巻く情勢の変化と、こう一言入れたほうが今のところに合っているのかな、そのためにプラス高齢化とという感じのほうがいいのかななんていうふうに思いました。

（根本雅昭委員長）よろしいですか、皆さん。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

（根本雅昭委員長）情勢の変化ということで、農業を取り巻く情勢の変化という一文を加えます。

（真田広志委員）2ページの6行目、福島たるゆえんであります。続いてって何かおかしくないかな。農産物であり、フルーツ王国福島たるゆえんであります。しかしながら、農業の担い手である農家数については減少しており、また高齢化が進んでおりますという現状、こういうふうに転換するので、続いてではないなという感じです。

（根本雅昭委員長）そうすると、続いてをしながらですかね。いかがですか。

（真田広志委員）これ分からないではないのよね。現状だけ先に述べてしまってというところではあるのだけれども、ただこれ現状の中で転換してしまっているのです。何とも言えないところだなと思っているのですけれども、つながりとしては続いてってなっているとちょっと違和感があるなという感じなのです。

（後藤善次委員）検討してもらったらいいいのではないですか。

（根本雅昭委員長）そうですね。あとはそのような中、近年とか、ちょっと別な言葉を。

（真田広志委員）何かそこら辺ちょっと並列ではないな。

（後藤善次委員）だね。角度が変わるのだね。

（真田広志委員）そうですね。

それからあと、上昇し、高齢化が進んでおりますと、上昇するなど高齢化が進んでおりますとか。

（根本雅昭委員長）上昇しを上昇するなどに。

（村山国子委員）3ページの2、3、4、5、6、7だったのですけれども、まずフレッシュ農家さんの支援を書いて、その後で理由が後づけになっていて、これは1つの内容になっているのかなと思うので、段落を変えないで、上のところに下の2行を入れ込んでしまったほうがいいのかななんて思

ったのですけれども。

（根本雅昭委員長）1行目と2行目ですか。

（後藤善次委員）6、7を5にくっつけてしまうということね、段落を変えないで。

（根本雅昭委員長）3ページ目の2、3、4、5と6、7が内容一緒ですので、6行目のところで段落を変えないで、前にくっつけてもというご意見です。いかがですか。ただ、おります、おりますが気になりますね。

（後藤善次委員）最初のおりますをここつなげてもいいかもしれないね。営農への言葉と。

（根本雅昭委員長）取り組んでおり、営農の初期段階では、実施しておりますですかね。よろしいですか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

（真田広志委員）先ほどの2ページの8行目、減少しております、進んでおりますなので、これも4,469人に減少しており、さらに基幹的農業従事者の平均年齢は、同期間で67.8歳から68.3歳に上昇するなど、高齢化が進んでおります。このようになってなるとつながる。そうしないと、さらにまたが重なるので、この前段、10行目までで1つの島という。

（根本雅昭委員長）減少しており。

（真田広志委員）しており、さらに基幹的農業従事者の平均年齢は、減少するのも高齢化もこの11行目につながっている。

（根本雅昭委員長）8、9行目で段落を変えずに、おり、で、さらにですか、さらに基幹的で、進んでおりますと。

（羽田房男委員）基本的で申し訳ない。同じページでフルーツ王国福島は漢字でよかったのだった。これ前の資料少し見たのだけれども、よく見つからなかったものだから、この福島は漢字でよかったのでしたっけ。

（根本雅昭委員長）文言については、先ほどのフルーツ名と同じようにちょっと確認します。

（羽田房男委員）前のぱっと見たのだけれども、ちょっと私見つからなかったもので、言っておかないとあれかなと思ったので。

（根本雅昭委員長）他も特に固有名詞については念のため再度確認させていただければと思います。

（羽田房男委員）あと、3ページの6行目と7行目なのですが、この令和3年度よりというところを営農の初期段階ではというところの前に持ってきたほうが分かりやすいかなと思ったのです。令和3年度より、営農の初期段階ではというところで、後で支援策として令和3年度より実施しておりますという、こういうのは、ちょっと皆さんに聞きたいのですけれども、どうなのかなと思って。

（根本雅昭委員長）頭に令和3年度をそのまま持ってきてしまうと。

（羽田房男委員）福島平仮名か、やっぱり。

（根本雅昭委員長）平仮名ですか。

（羽田房男委員）平仮名。ごめんなさい、ちょっと今。

（村山国子委員）福島は平仮名。

（根本雅昭委員長）挫折するケースは以前からあって、支援策は令和３年度よりですので、支援策と令和３年度はちょっと離せないですかね。

（羽田房男委員）いいのかな、これで。いいのだったら。ちょっと文章的にどうかなと思ったので、ちょっと疑問があったので、お尋ねしただけで。

（根本雅昭委員長）支援策としてというのが、として何とかをだったら分かるのですけれども、その支援策をですか、としてというのが。

（羽田房男委員）そうするとそのほうがいいね。

（根本雅昭委員長）３ページの７行目、支援策としてではなく、支援策を令和３年度より実施しております。

（羽田房男委員）すっきりしますね。ありがとうございます。

（佐原真紀委員）４ページの１４行目なのですが、作物に合った農地の確保がスムーズに就農できることにつながるということのは、ことが２つ続くよりは、スムーズな就農につながることのほうがシンプルでいいのかなと思いました。

（根本雅昭委員長）４ページ目の１４行目は、スムーズに就農できることではなくて、スムーズな就農につながることでですね。

（二階堂利枝委員）４ページの１８、１９で、長年の勘や経験にというところを長年の経験や勘にするほうが。

（根本雅昭委員長）経験と勘は逆ですね。

（七島奈緒委員）単純に誤字で、７ページの９行、成功例がありあます。

（根本雅昭委員長）成功例がありあますってなっていますね。ありますですね。

（佐原真紀委員）これ同じ７ページの１５行目もそのメリットは大きいものがありあますになっています。

（根本雅昭委員長）７ページ９行目、１５行目ですね。両方とも

（羽田房男委員）７ページの１４行目です。消費者に近く新鮮な農産物を迅速に提供することができる地産地消はというところ、近くというのは必要なのですか。地産地消というのはそもそもそういうことなのではないのかなと思うのですけれども、ちょっと不思議に思ったものですから、皆さんのご意見をいただければと思いますけれども。消費者に新鮮な農産物を迅速に提供することができる地産地消。近く。

（村山国子委員）地元の新鮮な農産物とか。

（後藤善次委員）地産地消は、遠くの消費者も対象になってしまうのではないですか。

（根本雅昭委員長）近くの後に点が必要ですかね。

（羽田房男委員）近くというのが必要なのでしょうか。必要だということであればそのまま結構なのですが、そう思ったものですから。

（後藤善次委員）近くの消費者ではおかしいか。

（村山国子委員）地域の消費者に新鮮な農作物を迅速に提供することができる地産地消はどうでしょう。

（後藤善次委員）地元の消費者。

（根本雅昭委員長）消費者に近いということなのですから。

（羽田房男委員）これでもよろしいですよ。

（根本雅昭委員長）逆に地産地消を最初に持ってきますか。地産地消は、消費者に近い、新鮮な農産物を迅速に提供することができ、物流コストが削減されでつなげる。

（後藤善次委員）問題提起は地産地消の推進だからね。

（羽田房男委員）そのほうがいいのかもしいですね。

（根本雅昭委員長）地産地消を最初に持ってきて、地産地消は消費者に近い、近くでもいいですかね。消費者に近く、点か何かを。

（羽田房男委員）そうすると、近くでいいですね。近いではなく、近く。

（根本雅昭委員長）近くですね。

（羽田房男委員）新鮮な農産物を迅速に提供することができる。

（根本雅昭委員長）地産地消は消費者に近く、新鮮な農産物を迅速に提供することができ。

（羽田房男委員）物流コストが削減され環境負荷と続く。

（根本雅昭委員長）削減されではなく、削減されるためのほうがいいですかね。削減されるため、環境負荷が低く。では、そのようにします。

（羽田房男委員）8ページの18行目なのですが、近年の急激な地球温暖化などから気候変動対策は急務であり、急務であることからではないのかな。急務でありって言うてしまうと、地球温暖化に対しての委員長報告みたいな捉え方というのともされると困るのかな。急務であるので、先述したスマート農業による生産効率向上などのということで、燃油使用の削減のほかのほうがいいのかなって思ったのですが、皆さんのご意見をいただきたいと思います。

（後藤善次委員）急務でありをどうするのでしたっけ。

（羽田房男委員）急務でありってなってしまうと、地球温暖化対策を、気象変動対策をなささいというようなことに受け止められると、ちょっと情勢としてはよくない。

（後藤善次委員）ありを何に変えるのでしたっけ。

（羽田房男委員）あることから。

（後藤善次委員）から、からになってしまうね。

（羽田房男委員）この頭のからを切ったら。どっちでも。前のから切っていただいて、そして急務で

あることからのほうがいい。お任せしますけれども。

（後藤善次委員）問題提起は気候変動対策に基づいた持続可能な農業に対してだよね。

（羽田房男委員）急務であるという、温暖化対策を進めなさいというような。

（根本雅昭委員長）そうですね。からを気候変動対策は急務であるというところにつなげないということですね。

（羽田房男委員）ちょっと皆さんのご意見をいただいて。

（根本雅昭委員長）地球温暖化等により。

（羽田房男委員）今はどうしても台風とかいろんなところでも地球温暖化であろうというところから出発はしているのは十分理解をしているわけですがけれども。そう言われると難しいな。

（後藤善次委員）これ4点目の問題提起はこういう言い方でいいような気がするのだけれども。

（羽田房男委員）なるほど、了解。そうしましょう。ちょっと思ったものですから。このままで。

（根本雅昭委員長）前後なかなか、確かにそうなのですから、いいですか、元のままで。

（羽田房男委員）ええ、皆さんよければそれで結構です。

（後藤善次委員）9ページの今空欄になっているところとのつながりの持っていく方、2行目辺りから空欄のところに持っていくつなぎの言葉については、下の中身によって変わってくるわけですね。

（根本雅昭委員長）そうです。上の1、2、3行目は下の中身によって柔軟に変えていきますので。

（後藤善次委員）結構一気に変わりますから、ここのところのつながりが難しいですね。環境を守るためにはこの法律をきちんと整備するべきだろうみたいな。

（根本雅昭委員長）そうですね。調査の流れによって。

まとめの部分もよろしいですか。正副手元でいろいろと。

（後藤善次委員）まとめについては大体決まり文句でしょうから。

（羽田房男委員）決まり文句だね。

（根本雅昭委員長）また直したところで前後の文脈など見ながら、またほかの部分も絶対今直さないというわけではありませんで、つじつま合わせ、つじつまといいますか、前後の流れを見ながらまた協議させていただきたいと思いますので、また今いただいたご意見を基に修正したいと思いますが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

（羽田房男委員）それにおいて、修正された部分についてちょっと分かるようにしてください。

（根本雅昭委員長）見え消しの形で。

（羽田房男委員）見え消しとか、そういうような形でやっていただけると、おそらくそのときのことを思い出すでしょうから。

（村山国子委員）さっきの8ページの18行だったのですがけれども、地球温暖化対策は急務でありにしまったほうがすっきりするのかなと思った。

（根本雅昭委員長）これ気候変動にしたのは凍霜害ですとか、いろいろそこから来ているのでしょうけれども、いろいろな地球温暖化以外もあるかなということ。

（村山国子委員）そういうのってみんな地球温暖化によるものですね。

（後藤善次委員）地球温暖化はちょっと対応するのは大変だよね。気候変動に対応するというのであればまだね。

（真田広志委員）凍霜害とかまで頭に入れてしまうとそもそもあれが違ってしまう。

（根本雅昭委員長）そうですね。そうしたら、前段で気候変動対策に基づいたというふうには入っているので、次の18行目では、村山委員おっしゃるように、近年の急激な地球温暖化等から、で、後ろの気候変動対策は急務であり、これ調査の範囲ではないので、消してしまって、などから、後ろにつながるという形ですかね。いかがですか、皆さん。

（村山国子委員）4点目はって、こう書いてあるからね。

（二階堂利枝委員）これを削除するという意味ですか。

（根本雅昭委員長）前後で気候変動は何度も出てきていますので。

（村山国子委員）そうですね。下にも一応気候変動って。

（後藤善次委員）から、だね。

（根本雅昭委員長）そうです。から、気候変動対策は急務であり、を削除。そうですね。すっきりしますね。ありがとうございます。

（真田広志委員）間接的にはつながっているのだけれども。

（後藤善次委員）逆行している可能性ある。

（真田広志委員）そうですね。

（村山国子委員）CO₂を減らさないで。

（後藤善次委員）よく考えると原因をつくっている。

（羽田房男委員）そうですね。燃油使用の削減をしているのだけれども。出てきたときに思い出すから。修正は6月だから、まだ大丈夫でしょう。

（後藤善次委員）結構いろんなこと提言しているから。

（羽田房男委員）13個になってしまう。今まで13個というのはちょっと私記憶ないかな。

（後藤善次委員）ましてやこれ条例改正も乗っかってくるからね。

（村山国子委員）質も量もボリュームがすごいよね。

（根本雅昭委員長）それでは、取りあえずこのような形でよろしいですか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

（根本雅昭委員長）また修正案お示しさせていただきたいと思いますので、次回の委員会では本日も指摘いただいた部分を正副手元で修正いたしまして、ご確認いただきたいと思います。

ほかに皆様からございませんか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(根本雅昭委員長) それでは、なければ、以上で経済民生常任委員会を終了いたします。

午前10時52分 散 会

経済民生常任委員長 根 本 雅 昭